



やすひさの瓦版 (第122号)

Home-page <https://www.y-shiozaki.or.jp>

E-mail shiozaki@y-shiozaki.or.jp

2021年7月16日

自由民主党愛媛県第一選挙区支部長
衆議院議員 塩崎 恭久

〒790-0003 松山市三番町4丁目7-2 グランディア三番町ビル階
TEL089(941)4843 FAX089(941)4894

政治活動28年間のご支援に心から感謝

去る6月19日、急なことでございましたが、私は次期総選挙には立候補しない事を明らかにさせて頂きました。平成5年初当選以来、28年間の長きにわたり皆様には大変お世話になって参りましたことに心から深く感謝申し上げます。

突然の事で皆様には大変ご心配をおかけしてしまいましたが、私がこの大きな決断に至った背景は以下3点にあります。

- ①近年、とりわけコロナ禍の重要課題の解決のために私が主張し続けてきた様々な政策提案の方向性に政府が漸く同意し、その実現性が濃厚となり、私の政治活動の大きな区切りとなりました。
- ②デジタル、グリーン、半導体等「新たな時代の軸」が見え、大きな転換期に差し掛かっています。新たな感覚と力を持った、次の時代を担う後進に道を譲るべき時だと考えるに至りました。
- ③病气持ちの妻の体調を考えると、これ以上負担をかけ続ける訳にはいかないと考えるようになりました。

この28年間、山あり、谷ありの歳月でしたが、お陰様で極めて充実した政治活動を続けさせて頂きました。「初志貫徹」を政治信条に、地元松山、愛媛をはじめ、人々と社会そして国家のために尽くす、との志を貫いてきた自負があります。

様々な難問に直面しても、皆さまにはいつも温かく、「信念を通せ」と励ましを頂いて参りました。

日本銀行出身として経済再生を主分野に、ビッグバン、不良債権問題処理、「護送船団方式」脱却を通じた産業競争力強化、コーポレート・ガバナンスコードによる企業体質と収益力の強化、働き方改革など、「政策新人類」とも呼ばれた当初から、一貫して日本経済再生に全力投球し続

けて参りました。

また、年金・医療・介護・障がい者等の社会保障政策にも心を砕き、特に厚生労働大臣の立場を得て、本格高齢社会における温もりある地域共生社会と安心できる暮らし確立を目指して参りました。なかでも、「子どもの権利」を明文化した平成28年の児童福祉法の抜本改正はじめ、ライフワークとして児童福祉に取り組み、目下は「子ども庁構想」と合わせ、「子ども基本法」の議員立法化の音頭をとりつつあります。

国家安全保障会議の設置、公務員制度改革など、「国の形」を大きく変える改革も緒に就けさせることができました。今後、わが国があらゆる危機に対処するために必須の改革です。

さて、愛媛1区の次期総選挙候補者は、自民党のルールに則り公募により、塩崎彰久弁護士が選ばれました。

皆様にお守り頂いてきたこの1区の議席を、次なる選挙でも必ず守り切るべく、私も力を尽くして参ります。政府与党に対する厳しい批判を真摯に受け止めつつも、なおこの国を守り発展させるのは自民党しかない信じております。どうぞ皆様には、今後とも引き続き熱いご支援を賜りますようお願い申し上げます。

これからは「実践」に軸足を移して、皆さまと一緒に新たな形で引き続き地域や国のために汗をかき続けて参りたいと存じます。これからもどうぞ変わらぬご指導を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

皆様には、どうかご健康にはご留意頂き、益々ご活躍されますようお祈り申し上げ、心からの感謝を込めてのご報告とご挨拶とさせていただきます。



長年のご支援に感謝

(6/19、『後援会代表者会議』)

6月19日の後援会代表者会議で、次回総選挙への不出馬を表明。28年間の長きにわたり、守り、育てて頂いた後援会、支援者の皆様に深く感謝です。

自民党県連、塩崎彰久弁護士を公募候補選出

去る7月9日、自民党愛媛県連は公募により、塩崎彰久弁護士を次期総選挙愛媛県第一選挙区候補者に選出しました。



プロフィール

1976年9月9日生。松山市立道後小学校、愛光中学・高校を経て、東京大学法学部を卒業。長島・大野・常松法律事務所のパートナー弁護士（共同経営者）として多くの危機事案の解決に携わるほか、民間の立場から福島原発事故や新型コロナ政府対応の独立検証などを行う。06～07年官房長官秘書官。08～10年ペンシルバニア大学ウォートン校に留学、学生自治会長を務め、MBA取得。本人と長男（中2）は日本、海外赴任中の妻と次男（小6）は米国、というリモート家族にチャレンジ中。趣味はテニス、茶道、インスタ俳句など。

骨太の方針2021

令和3年6月18日閣議決定の「骨太の方針2021」では、塩崎恭久の提案が多く活かされた。

感染症有事の国家ガバナンス関連では、「緊急時対応をより強力な体制と司令塔の下で推進」し、「病床や医療人材の確保に関する協力を国や地方自治体が迅速に要請・指示できるよう」、国と地方の新たな役割分担等について「法整備を視野に入れつつ検討を進める」。

データヘルス改革関連では、「一般の感染症の自宅療養者に確実に医療が全員に提供されるよう医療情報を保健所と医療機関等の間で共有する仕組みの構築（必要な法改正を含め検討）」、「電子カルテ情報や介護情報の標準化の推進」など、「データヘルス改革に関する工程表に則り、改革を着実に推進する」ことなどが盛り込まれた。

NTDsの根絶に向けて (6/13、参・議員会館)



私が会長の「顧みられない熱帯病（NTDs）の根絶を目指す議連」に、ノーベル生理学・医学賞受賞の大村 智博士を招き、イベルメクチンの貢献等を伺う。

私が会長の「顧みられない熱帯病（NTDs）の根絶を目指す議連」に、ノーベル生理学・医学

休眠預金活用のさらなる活用を (6/4、衆1・議員会館)



私が会長の休眠預金活用推進議連にて資金分配団体有志による休眠預金の活用業務の改善提案を議論。

日豪の連携強化の要 (6/8、衆1・議員会館)



私が副会長の日豪議連に安倍晋三前総理が最高顧問に就任。ジャン・アダムス大使も参加。

保健医療のDX推進 (6/15、厚労大臣室)

2017年以来的データヘルス改革に漸くひと区切り。データヘルス特命委の広範な提言をデータヘルス改革工程表に基づき今後強力推進の要。



子ども基本法を作ろう！ (6/15、東京)



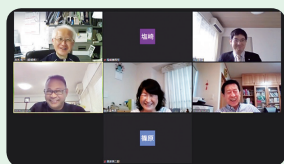
院内集会「きいてよ！私たちの声～子どもの権利に関する基本法実現に向けて～」に自民党児童養護議連会長として参加し、小6年生から高3年生までの皆さんと意見交換。

日本のものづくり基盤の強みを生かす (6/15、党本部)



私が顧問の鑄物産業振興議連総会において、多くの産業に不可欠なサプライチェーンを担う鑄造業界の皆様と、国際競争の中で生き残る戦略を議論。

ミニ集会で多分野、多方面の取組みや課題を語り合う (6月、松山事務所)



責任政党として立法府のDXをリード (6/18)



(首相官邸)

私が本部長を務める党・政治制度改革実行本部が、国会と自民党のデジタルトランスフォーメーション（DX）提言を菅総理に提出。

「国会のDX」では、世界から大きく遅れる国会のデジタルインフラの急速整備をまず提言。「自民党のDX」では、オンラインでの党員申込、党員管理などの広範なDXを提言。



(参議院幹事長室)